



谷中プロジェクトスクール 2015



「東京文化資源区：Central Tokyo North」 構想

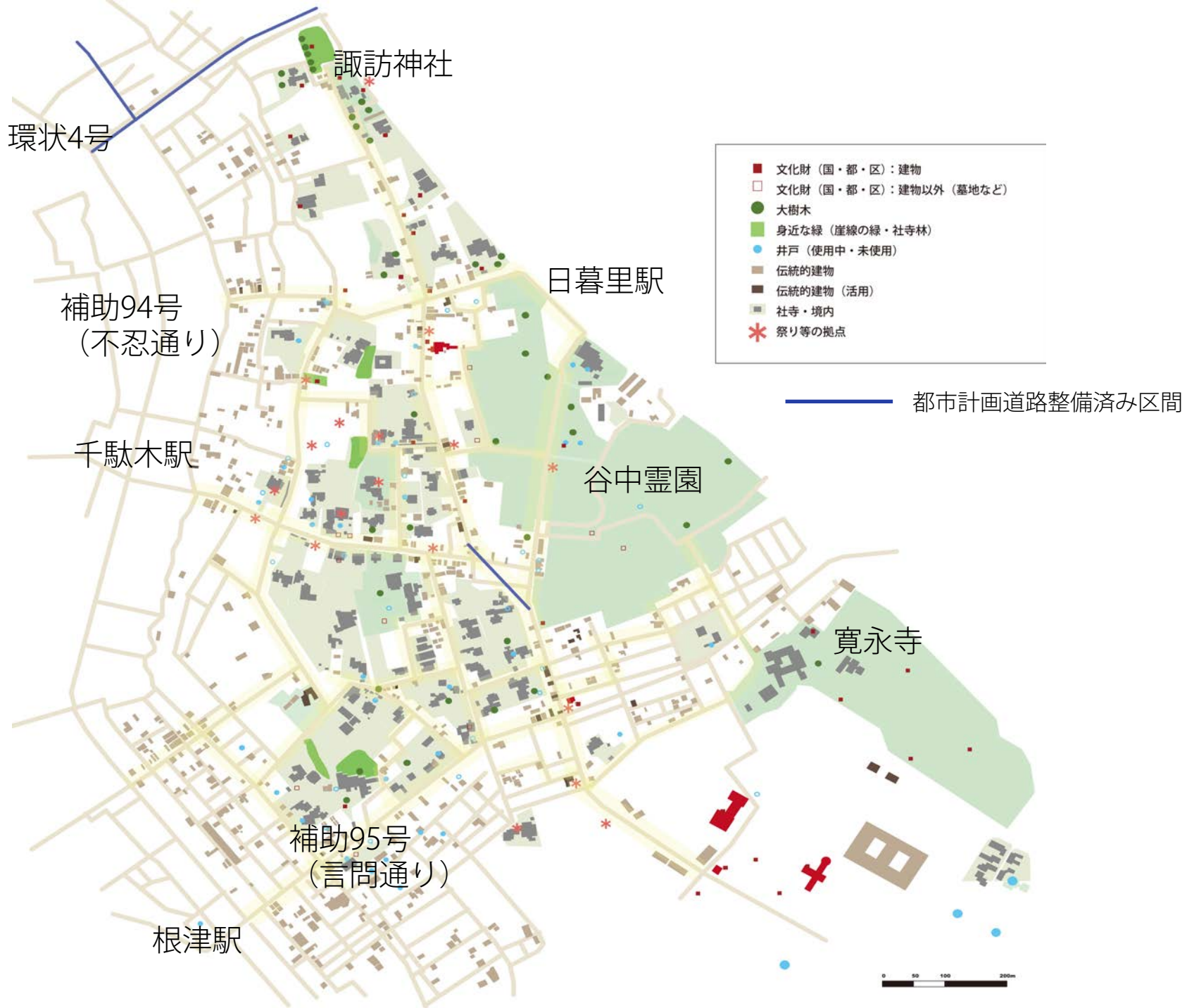


東京都心北部

- ・谷中・根津・千駄木、上野、本郷、秋葉原、神保町、湯島
- ・近世以降の歴史的な文化資源が集積
- ・半径2km徒歩圏に集中的に立地

「東京文化資源会議」(2014-)

- ・古くて新しい東京の顔として一体性を回復
- ・文化芸術学術の拠点としてリノベート
- 21世紀の東京を創造



谷中プロジェクトスクール

プロジェクトスクール(PS)とは...

・文化資源を使いこなして社会課題を解決する**知識専門職の養成・活用**を目的

・地域での**人的ネットワークを築く機会**を提供するとともに、**地域のまちづくりに寄与し、自身の活躍の場を見出せる人材**として成長することをねらう

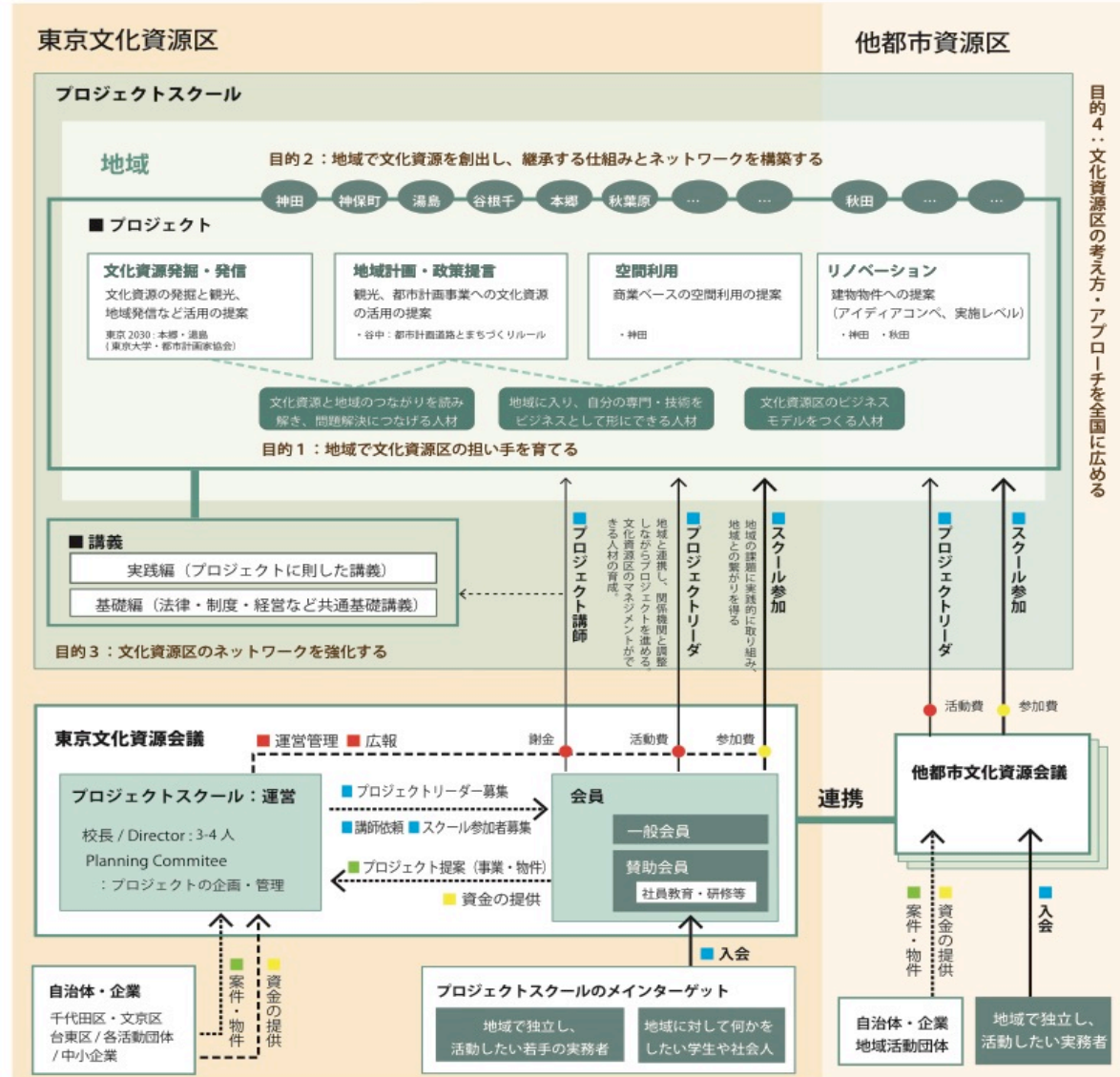
・2016年開設に先駆けて谷中でスタート(2015.11-2016.3 開講)

・近隣に拠点を置く若手実務家や専門家、近隣大学の学生、地域に住まう方**17人**が参加

・**学識経験者**がアドバイザー、**地域のキーパーソン**が連携メンバーとして参画

東京文化資源区プロジェクトスクールの概要

2015年8月26日



谷中プロジェクトスクール

金野 千恵 **B**

teco / 日本工業大学助教
建築家・大学教員



参加動機: 谷根千に住居+設計事務所を構えて3年、知人や縁(ゆかり)もなく住み着きましたが、歴史や街並、人々、暮らしの有り様、日々、安心感ももっています。この3年の間にも街は大きく更新されましたが、この代謝の現象を相対化したり、記録することで、“これまで”と“これから”の谷根千を横断する一粒になりたいと考えました。谷中のポイント: 谷中銀座の綺麗な並ぶビルケースで昼間からビールを飲む人々や、すずらん通りのカラオケバーが覗き連ねる様子を肌で感じる時、寛容なまちとその暮らしの魅力を感じます。

三島 由樹 **D**

ランドスケープデザイナー
株式会社フォルク



参加動機: これまで個人の活動として、Tokyo Street Garden という、路上にある植栽や地先園芸文化を再評価し地域づくり活用に活用して活動を入れたしとしていました。谷中プロジェクトスクールは、小さな緑と地域づくりを結びつける方法論を様々な興味や専門を持っている他のメンバーと考えたい良い機会になると思い、参加しました。谷中のポイント: 鉢植えなどの小さな緑を個人個人が創意工夫を自由に凝らして、暮らしやすい環境を大らかにかつめ細やかに作りあげているところ。

沼野井 諭 **AB**

建築家(一級建築士)
宅地建物取引士
沼野井諭建築設計事務所



参加動機: 1歳から15歳まで住んでいた定区区梅島は、路地が権権に入り組み、街中が遊び場といえるほど走りまわられる街でしたが、2000年代に不動産開発が盛んになると、数件の再開発で風景が簡単に変わってしまったことに違和感を覚えました。谷根千という街の雰囲気が好きであること、地域の文化や景観について「守り」ながら「創る」視点からも谷根千を考えたいと思い、参加しました。好きな風景: 日暮里駅を降りて夕焼けだんだんへ向かう途中に見える賢屋「おちさん」の看板と背景の街並みが見えたと。帰ってきた感じがします。

塚本 晃子 **A**

建材メーカー研究員
大学院博士課程(2016-)
東京工業大学大学院博士課程



参加動機: 働きはじめてから谷中に住みはじめ、街並の面白さだけでなく住んでいる方々に根付いた文化、習慣やコミュニティのあり方にもとまひかれました。自分もその中で役に立ちたいと思い参加しました。谷中のポイント: 谷近所さんが集いバーベキュー、秋にさんまの会がひらかれたり、子供たちがかくれんぼして遊んでいる谷中のポイント: あふれ出した植栽やお寺の大きな風景の情景。

三谷 蘭子 **C**

都市計画コンサル
会社員



参加動機: 谷中には、まちを歩き、そこで過ごすだけどころが豊かな空間があります。この居心地のよさが好きなので、住み始めて日は浅いですが、自分が暮らす場所のまちにもっと関わっていきたくて思い参加しました。谷中のポイント: 心地よくどこまでも歩ける路地とまちのスケール感、昔からの建物やお寺が多く残っているところ

Robert Morel **E**

講師
東洋大学国際教育センター



参加動機: 自分が大学生の頃から、まちづくりと地域社会の発展に興味を持っていました。谷中の町並みと建物を保存し、面白いコミュニティを続けていけるよう、力になりたいと思っています。谷中のポイント: 谷中の町屋「間間間」に3年間住み、谷中は伝統的でありながら新しい人も受け入れてくれる町であることに感動しました。この町のコミュニティを大事にする人をもっと増やしていきたいです。

峯岸 由美子 **D**

環境教育プロデュース
一般社団法人進心代表理事、
(公社) 日本ユネスコ協会
指導者養成委員他



参加動機: 谷中に生まれ育ちました。今息子を地域で育ててもらっています。年々変わる街並み、人の流れ、地域のつながりを見ていく中で、やはり愛する街をひとつひとつ丁寧に育てていきたい。人と建物、経済だけでなく、「自然環境」も加えた「谷中」を考えていきたいです。谷中のポイント: 子どもの頃から通っている路地、遊んだ谷中墓地・天王寺。昔の富士見坂。お調方様

菅 完治 **B**

不動産賃貸業
一般社団法人日本不動産経営協会、
地縁法人千秋木三丁目北町会



参加動機: 若い方々や地元以外の方々が、地域の景観や町文化を守る活動を真剣に取り組んでいる姿を知り、地元で古くからして 年寄りにも、何かお手を貸し出来ることがあるのではないかと 思い参加させて頂きました。谷中のポイント: 三崎坂上「石六」から加納院へ向かう路地、谷中銀座へよみせ通り商店街

岩崎 修平 **C**

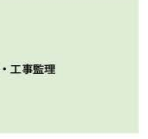
イベントプランナー/
Webディレクター
もてなし屋根津



参加動機: 2015年7月に「もてなし屋根津」を開け、谷根千エリアについて知るようになり、より深く学ぼうと思っていたタイミングで、このプロジェクトに出会えました。根津においては、まちづくり勉強会というものに参加しておりますが、谷中においてはコミュニティに入ることが出来ておらず、谷中にお住まいの方と交流する機会も持たせたいと思い、参加させて頂きました。谷中について、より深く学ぶと共に、他の人間として、また根津の人間として、谷根千をより良い街にする一助となれたいと思います。谷中のポイント: 日常に溶け込む谷中公園

今場 雅規 **B**

地下鉄構内の建築工事の設計・工事監理
自治体職員



参加動機: 谷中エリアは、学部・大学院生時代に通学路として毎日通っていた場所であり、気取らない生活感や、今も残る古い家並みが醸し出す雰囲気を感じていました。今回、谷中をテーマとしたプロジェクトが始まるということで、そんな好きな地区に関わるほか、魅力的な方々に出会える良い機会なのでと思い、参加しました。谷中のポイント: 夕焼けだんだん付近のステキな獲熊

介川 亜紀 **E**

フリーエディター&
ライター/大学院修士
自営/明治大学



参加動機: 都心でありながら、古き良き日本の風景と文化の残る稀有な地域を、もっと知りたく思いました。また、活動に参加しながら、参加されているさまざまな方々の知識に触れ自らも学びたいという思いがあります。どうぞよろしくお願いたします。谷中のポイント: 趣ある、それでいて親しみを感じる木造家屋の街並み、そして、路地、そこに佇む木々、青空。家屋の再生に伴って、新たに生まれる変化やさまざまな人の繋がりに非常に魅力を感じています。

土井 祥子 **B**

大学院博士課程
東京大学大学院
都市デザイン研究室



参加動機: 大学で都市デザインを専攻したのち文化遺産の保護に関わる仕事を経て、大学院での研究生活を再開しました。まちの「図」と「地」を浮かび上がらせるように歴史の積層を磨かなくていい谷中のまちづくりからは、これまで多くを学ばせていただいたのですが、近隣大学で研究に従事する学生として、地域住民としても、何か貢献できたらと思い参加しました。

猪熊 智紀

学生
東京理科大学



参加動機: 谷中のまちが好きでよく散策していた。小学生のころを思い出すような細い路地道を足を取られるある風景に気づきました。谷中の風景を次につなぐ活動があると聞いて力になりたい、というより、自分もその中の一助になりたいと思ったのがきっかけです。谷中のポイント: あふれ出した植栽やお寺の大きな風景の情景。

浜田 愛 **C**

大学院生
東京大学大学院
都市デザイン研究室



参加動機: 大学院に入り様々な町や人と出会う機会をいただく中で悩んでいた、自分が学び暮らす町である本郷周辺のまちについて何も知らないという危機感、知りたいという好奇心が、今回プロジェクトスクールの募集とマッチしたため。また純粋に、谷中にもっとつながりを作りたいと思い。谷中のポイント: 谷中の何が人々を惹きつけるのか、寺町という特徴的な空間構成、その歴史や江戸において担っていた役割とは何か。またそれらが現在の谷中というまちの文化とその空間にどのような影響をもたらしているのかを知りたい。また、寺町独特のまちに漂う雰囲気というものを大事に気付くつ、要素分析をしていきたいです。

越野 あすか **E**

大学院生
東京大学大学院
都市デザイン研究室



参加動機: 学校の近くの昔ながらの景観が残る場所として前から気になっており、友人とまちあるきをしたときに内より面白そうなるまちだと感じ、谷中というまちやまちづくりに関する活動について知りたくて思い、参加しました。学校の外での活動にも参加してみたいと思ったこともあります。谷中のポイント: 初音の道を歩いて特に興味を持った建物は、56年のテラスハウス、初音間のビルハウス&店舗、後ろの雁行マンション、初音の道に面した建物の更新の様子です。時代に合わせた暮らしやすさと残すべきものとは何かを考えさせられました。

紅林 賢 **A**

学生
早稲田大学



参加動機: 谷中に住むなかで、様々な谷中の魅力について感じ、それを皆様の意見とともに共有し、さらに向上していきたいと思っただけ。また、学生の立場として、このようなプロジェクトについて携われることについて、多くの経験を皆様から学びたかったから。谷中のポイント: 谷中公園緑地と木の合間から見える高層建築群の複層化が織り成す都市的な情景


グループ

- A** 通り沿い
- B** 大規模開発
- C** お寺
- D** 小さいもののネットワーク
- E** 共有と発信

企画・運営

椎原 晶子 **A**

地域プランナー
(技術士/都市および地方計画)
NPO たいとう歴史都市研究会、
谷中住人



参加動機: 学生時代から谷中の人と町の温かさに惹かれて住み着き、芸工展や建物再生の活動をする中、子どもたち共々この町に育てられました。この良さを引き継ぐには、世界や東京、各地の動きの中で、さらに深く町の方や若い世代の人たちと一緒に考え、行動していかなければと思い、プロジェクトスクールを立ち上げました。谷中のポイント: いろいろな時代の人の暮らしや思いの見える家々、人の温かさ、鳥の声、森、広い空と自然に曲がった道、坂、寺町の風情と気風。

片桐 由希子 **B**

緑地計画、観光
首都大学東京 助教



参加動機: 上野桜木に来て、地域の方々の暮らしの蓄積による谷中の環境を日々享受しながら過ごさ、いつの間にかに7年。観光客と地域住民の間のような立場から、もう一歩まちに入る入り口がほくは、東京文化資源区の活動ではそれを作ることはできないのではないかと、と考えプロジェクトスクールの立ち上げに関わることになりました。谷中のポイント: お寺の門構えと堀。親しみやすいスケールで、一つ一つ個性があり、季節の移り変わりを感じさせる植栽がある。青空、朝焼け、夕焼け空よりよく映す。

宮崎 晃吉 **C**

建築家 HAGISO 代表
東京藝術大学非常勤講師



参加動機: 自身の生活・仕事を営む場としての谷中地域で、現在のまちの良さを保つために大きな視野で考えてみたいと思っただけ。ポイント: 車の入れないような細い路地。銭湯。

2/14 公開作戦会議 プログラム

- 14:30 開場
- 15:00 挨拶、概要説明
- 15:10 プロジェクトスクール生の視点
- 16:30- ディスカッション (17:00)
- ※ 18:00 より懇親会 (会費制) を開催します。ぜひご参加下さい。

まちの作戦会議 @ 谷中

谷中PSの目標

- ・ 谷中地区におけるまちのビジョンとしくみの整理と提案
- ・ 住民、地権者、行政、専門家の長期的な生活ビジョンの提示
- ・ 各種制度の活用、経済性の担保に関する検討と提案
- ・ 各主体間の情報共有・コミュニケーションツールの提案

作戦会議

- ・ テーマごと4グループを構成

- 通りぞいのまちなみと大規模開発
- 寺のまち 谷中
- 小さなもののネットワーク
- 共有と発信

- ・ 調査（現地踏査・インタビュー・文献）・ディスカッション・共同制作作業

公開作戦会議

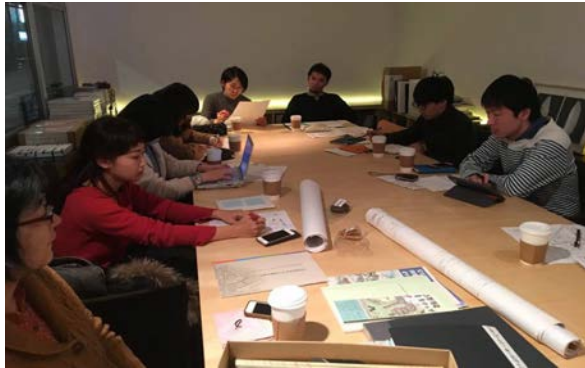
- ・ 地元住民、東京文化資源会議会員を中心に参加を呼びかけ
 - ・ アドバイザーや専門家、実務家による話題提供
 - ・ PSメンバーによる提案発表を受けて、公開討論を実施（計5回）
- ① まちの景観としくみづくりのこれまでとこれから（11/9）
 - ② まちを守るしくみと課題（12/7）
 - ③ 事業性の確保とストック活用（1/18）
 - ④ 共有と発信—中から見る谷中（2/1）
 - ⑤ まちのしくみへのアプローチ考える（2/14）

まちの作戦会議 @ 谷中

作戦会議



公開作戦会議



プロジェクトスクール 谷中のまちのしくみを考える10の視点

住み慣れた環境が存続すること

地域のくらしの基盤を継承すること

(個人商店・路地空間)

多様な時代の建物、多様な世代が共存できる

住み手のくらしを支える
ひとのつながり

「**谷中地区まちづくり憲章**」(2000)

および

谷中地区まちづくり協議会「暮らしの作法」「街並みルール」素案(2015)
をベースに設定

ひとのつながりを作ること

まちの防災を支えること

→地域のこれまでのまちづくりのベクトルと乖離しない提案活動を

日常生活がまちの文化になっていくこと

歩いて楽しいまちとすること(通過交通、交通マナー)

まちの自然・緑が生活に取り入れられること

住み手自身がまちとの関係に手を加えられること

まちのひとがまちに投資すること

日常を楽しむ観光を実践・発信すること

外部からの経済価値評価に左右されないこと

(選択肢が等価に用意される、地価をあげすぎない)

谷中のまちづくりをめぐる動き



美しい日本歴史風土100選の
谷中の街を
守りましょう

ご購入いただける方はご署名をお願いします。

インターネットから: <http://yamanote-machi.com/>

お問い合わせ先: 寺町谷中の暮らしと文化、町並み風情を守る会

谷中の暮らしと街並みを守る会 (代表) 野島孝二 | TEL: 03-3281-0922 | Facebook: YamanoteMachi | Twitter: YamanoteMachi

谷中3丁目マンション計画

H27.7 谷中の暮らしと街並みを守る会



ヒマラヤ杉

H24.3-ヒマラヤ杉と寺町谷中の暮らしと文化、町並み風情を守る会

都市計画道路(補助92・178・188号)
見直しの方向性(H16年3月)

補助188号線

補助178号線

補助92号線

守る会からの計画への提案活動

業者プランの検証

景観への影響や周囲のまちなみとの関係について、模型や専門家によるボリュームスタディーにより検証。

代替案を提示しながら、業者や区と協議を進めた。



20151005

参考：現状案の日影状況
※受領したペーパーベースで再現していますので、実際と異なります。

step1：この土地に建てられる最大のボリュームを検証

step2：よみせ通り側に何階まで建てられるか？

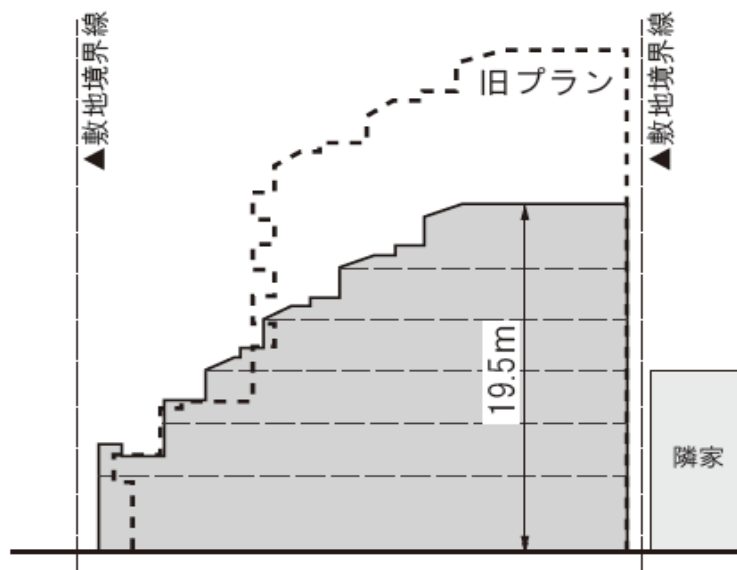
step3：よみせ通り側に2階、少し下がって5～6階の場合

見直し提案を受けた計画の変更

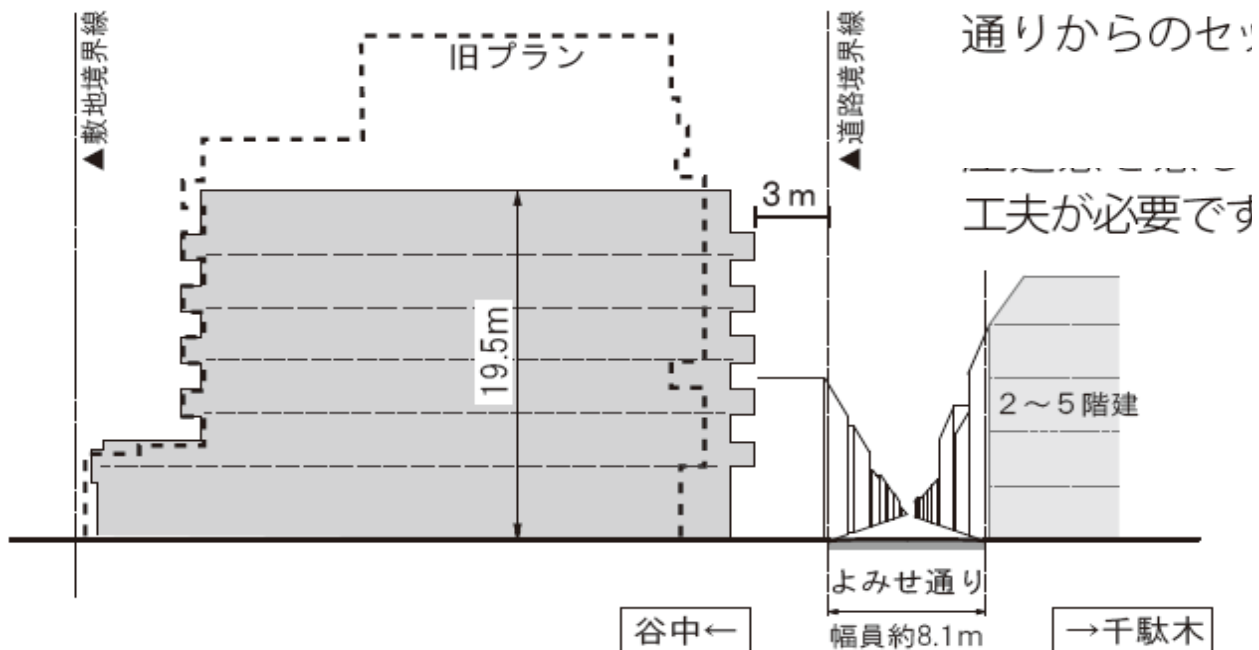
	旧プラン	新プラン
階数・高さ	9階建て・28m	6階建て・19.5m
延床面積	3252.79 m ²	2816.51 m ²
住戸数	61戸	49戸
ワンルーム	41戸	27戸
ファミリー	20戸	22戸
ファミリー率	32.7%	44.8%

*今後、計画の調整により変動の可能性あり

▼よみせ通り側から見たボリューム



▼よみせ通りと千駄木側を含めたボリューム比較



谷中のまちづくりをめぐる動き



H27.7 谷中の暮らしと街並みを守る会

H28.2 6階建て案提示
→よみせ通りの建築協定案検討



H24.3 ヒマラヤ杉と寺町谷中の暮らしと文化、町並み風情を守る会

H27.7 「(一社)谷中ヒマラヤ杉基金」設立
H27.11 明け渡し裁判和解成立
→区に景観重要樹木・まちづくり協定策定協議の申し入れ

都市計画道路(補助92・178・188号)
見直しの方向性(H16年3月)

H27.12 「見直し検討区間の全区間廃止」の都市計画の見直し方針を決定
→まちづくりの方針検討

都市計画道路の
見直し方針について

(日暮里・谷中地区)
東京都市計画道路
幹線街路補助線街路
第92号線
第178号線
第188号線



平成27年12月
東京都・文京区・台東区・荒川区

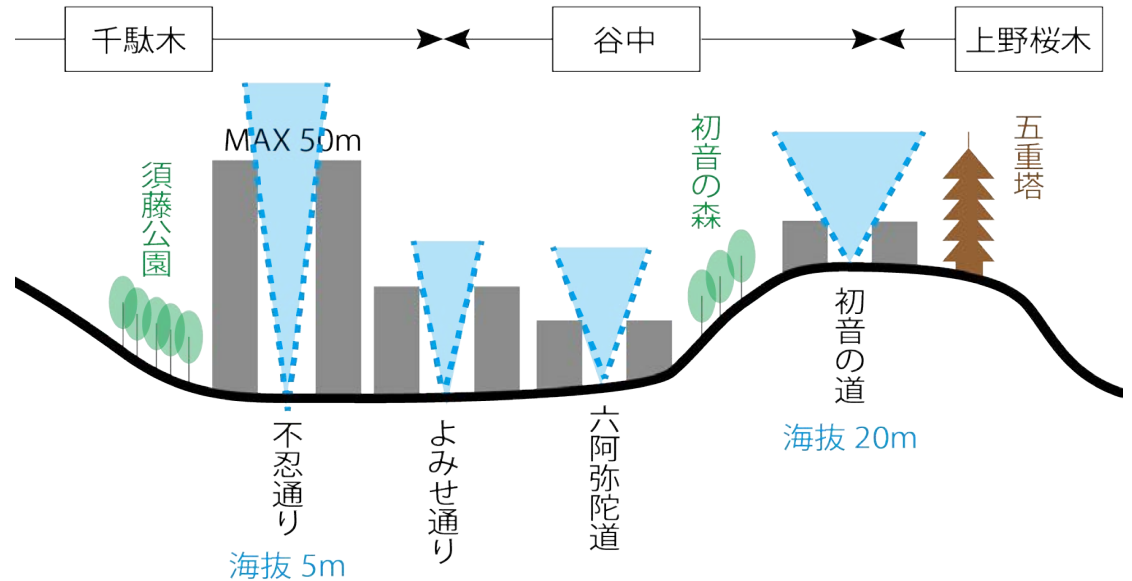
補助188号線

補助178号線

補助92号線

まちづくりの動きと連動した調査・提案活動

- ・ 主要な軸線となる通りごとの建築条件の整理
 - ・ 谷中らしい空間マネジメントのあり方を検討
- 谷中地区まちづくり協議会
「まちづくり交流会」で提案



①建築協定案	②想定する大規模敷地								
	対象敷地	用途地域	日影規制	高度地区	最高限度	行政区	都計道路	敷地面積	備考
諏訪台通り 初音の道	諏訪神社付近	第二種中高層住居専用	4時間-2.5時間 (測定面6.5m)	第三種	なし	荒川区		3000	北、東側に商業地域
	仮想敷地(海蔵院向かい)	第一種住居	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区	○	1000	
	朝倉彫塑館付近	第一種住居	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区	○	500	
六阿弥陀道～ 寺町	富士見ホテル北の木賃アパート群	第二種中高層住居専用	4時間-2.5時間 (測定面6.5m)	第三種	なし	荒川区	○	1000	
	仮想敷地(大圓寺付近)	第一種住居	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		1000	
	大名時計博物館	第一種中高層住居専用	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		1000	
よみせ通り	台東区側 伊藤忠マンション敷地	近隣商業	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		1000	
	文京区側 仮想敷地	近隣商業	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	17m	文京区		1000	西側に商業地域
へび道	台東区側 仮想敷地	第一種住居	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		1000	
	文京区側 仮想敷地	近隣商業	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	17m	文京区		1000	西側に商業地域
御殿坂～ 夕焼けだんだん	三角地带(七面坂との分岐地点)	近隣商業	5時間-3時間 (測定面6.5m)	第三種	なし	荒川区	○	?	
	夕焼けだんだん南側	近隣商業	5時間-3時間 (測定面6.5m)	第三種	なし	荒川区		?	
三崎坂	台東区南側 看板建築エリア	近隣商業	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		?	
	台東区北側 仮想敷地	近隣商業	4時間-2.5時間 (測定面4m)	第三種	なし	台東区		?	
	文京区側 仮想敷地	近隣商業	なし	第三種	31m	文京区		?	
言問通り	台東区北側 デニズ周辺?	近隣商業	なし	第三種	なし	台東区	○	?	
	台東区南側 ルネ上野桜木	近隣商業+第一種住居	なし	第三種	なし	台東区		?	北側日影規制なし

スタディ

仮装敷地設定による現行と絶対高さ導入案の検討



現行

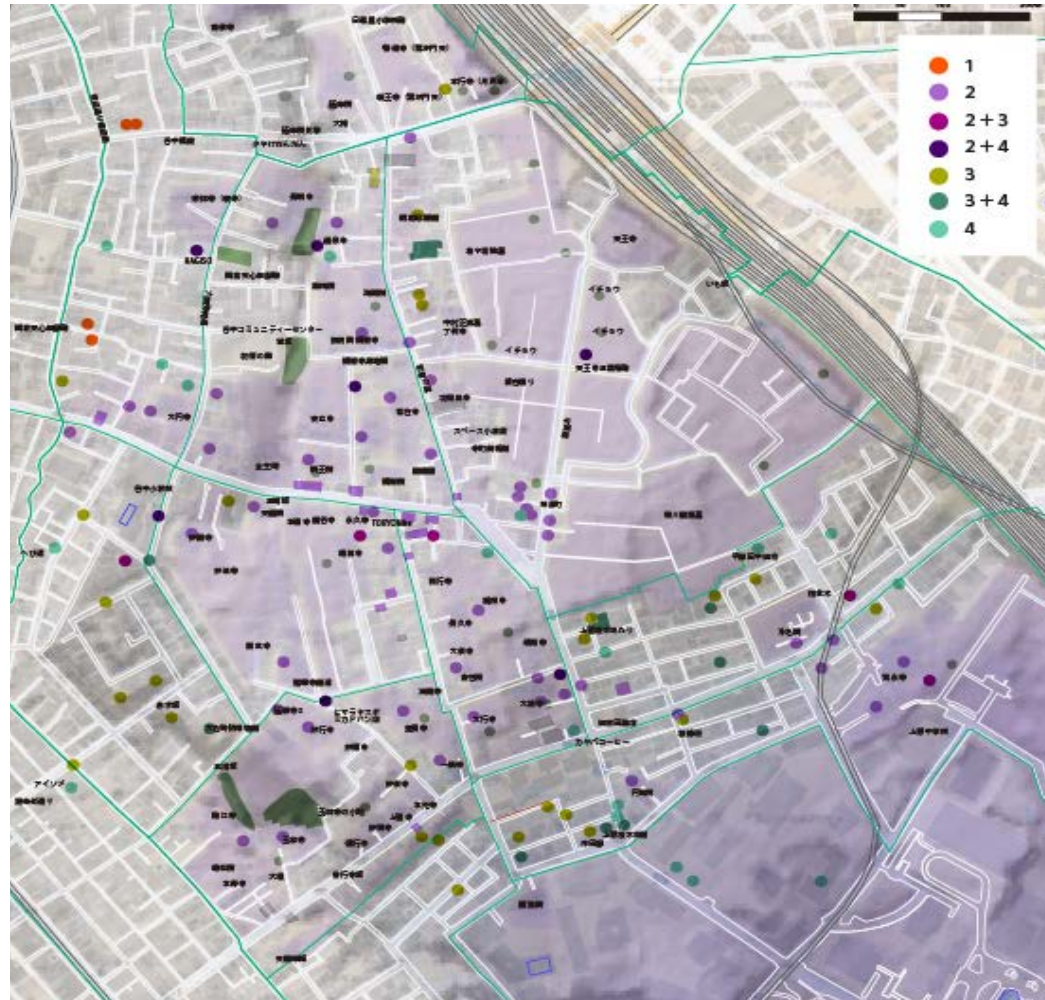


絶対高さ13m導入案

まちづくりの動きと連動した調査・提案活動

- ・台東区長 **歴史的風致維持向上計画**策定の意向表明 (2/4)
 - ・近世から現代までの**各時代のモデルとなる歴史文化資源**のリスト化と分類整理
- まちづくり協議会との共有・区への提案へ (今後)

	江戸	明治	大正	戦前	戦後	昭和	平成
寺院	江戸 -戦前-昭和	明治 -昭和	大正	戦前	戦後	昭和	平成
門	江戸?						
お茶屋建築		明治		戦前			
お堂		明治					
霊廟		昭和					
長屋		明治	大正	戦前		昭和	
長屋式町家		明治		戦前			
町家		明治	大正	戦前	戦後	昭和	平成
木賃					戦後	昭和	
町家+マンション		江戸、大正、平成					
マンション						昭和	平成
戸建		大正		戦前	戦後	昭和	平成
屋敷		明治	大正	戦前	戦後	昭和	
蔵				戦前			
蔵、屋敷		明治					
蔵、戸建		明治 -昭和					
銭湯					戦後	昭和	
駅舎				戦前			
公的施設		戦前					
看板建築		明治	明治-平成	戦前		昭和	
アーケード					戦後		
マーケット					戦後		
RC店舗						昭和50-	
路地		平成					
近代建築		明治					



「地域に学んだことを地域に還そう」

谷中プロジェクトスクールは
2016年度も秋から開講する予定です。

調査研究や提案活動に積極的に参加してくださる方を
募集しています。

興味のある方は、
D1 土井 (sd@ud.t.u-tokyo.ac.jp) まで
お気軽にお声がけください！